

東京支部だより

題字 今井綾子 (高女 28 回)



大きく膨らませよう東京支部を

支部長 宮崎玲子 (高校 1 回)

先輩諸師及び後輩の方々、ご機嫌いかがですか。本年より東京支部の役員は全部高校卒となりました。高女時代の皆様の並々なぬご努力によって、東京支部を大きく育てて下さった歴代の各支部長の方々の後を引き継ぎ、肩の荷が重く感じますが、会員の皆様に協力頂いて精一杯努力するつもりでおります。

昨年総会でご賛同を得て決定致しましたように、今年から支部長の任期が一年になりました。それに伴って副支部長が三人となり、支部長と併せて二年二組のペアでお役を務めます。今後はどの学年も万遍なくお役を受けるわけですが、その学年全体が一丸となつて支部長の任に当たるとの表現が適切と思われま

「支部だより」に寄せて

前支部長 清水 保子 (高女 38 回)

東京支部の皆さま、お元氣ですか。新春のお慶びと共に、私共待ち望んでおりました、皇太子ご婚約の嬉しいニュースに接し、思わず拍手をお贈りした程でした。心からお慶び申し上げます。

昨年総会で、二年間の私の支部長の任期を終え、宮崎支部長に引き継ぎました。任期中、支部会員の皆さまをはじめ、役員一同さま、大変ご協力頂き、ありがとうございます。また東京支部が設立されてから四十余年が経過し、支部の現在の発展を見る迄になり

縮措置や、新制度への切り替えにより、高女三十九回、四十回の卒業が混入して、大手

を振って高校卒の仲間とはなり難いのですが、過渡期としてよき高女時代を踏襲しながら、次世代への布石となるよう努めたいと思います。今年も会員の皆様方のご協力で、「東京支部だより」をお手元にお届けできました。

次年度は名簿改訂に取り組み、会員に還元のため無料配布、また、沢山の維持費納入を頂き感謝しております。ご協力くださいました会員の皆さまへ厚くお礼申し上げます。今後共支部発展のため、皆さまの惜しみないご協力をお願いします。

たくさん原稿を頂きまして感謝しております。今回は、先輩の出された「東京支部のあゆみ」を一号と数え、今後続くことを願って三号と致しました。本部の「ふたば」と隔年のお便りで、東京支部の仲間が増すチャンスになれば幸いです。今後毎年選出されるフレッシュな人材の方々により、東京支部が更に大きく羽ばたくことを願っております。

平成 四年度総会決まる

日時 平成 5 年 5 月 25 日(火)
10:30~15:00
会場 日本青年館 4F 東洋軒
TEL 03-3475-2525
講演 講師 名取 将氏
(NHKアウンサー)
『報道こぼればなし』
昼食パーティー
会費 5000円

本部理事会報告

- ・終身会費納入状況 平成 5 年 1 月 31 日現在 10,781 名 (今年度 43 名)
 - ・45 回卒業記念品 テレホンカード贈呈
 - ・平成 3 年度新入生入学記念に二葉高校校章贈呈
 - ・平成 4 年度新入学生数 358 名 (内男子 105 名)
 - ・同窓会第 58 回定期総会 平成 4 年 4 月 25 日 於 諏訪シティーホテル成田屋
 - ・同窓会親睦バス旅行 平成 4 年 10 月 5 日 信州の鎌倉別所を中心として
 - ・同窓会会員名簿発行 平成 5 年末の予定 (業者委託 ¥4,000)
- 調査用葉書が届きましたらご協力をお願いします

諏訪二葉同窓会会長 山岸 久

東京支部に思うこと



東京支部の
皆様ごきげん
いかがですか。
同窓会に対し
の熱意がす
ばらしいです
ね。皆様方は
郷里を離れて
いらつしやる
せいもあると
は存じますが、
そして、役員
の方々が骨身
を惜しまず計
画通りに実行
なされていら
れることに頭
が下がります。
本部でも、魅力ある同窓会
として出席せねばならぬよ
う努力するつもりではありま
すが、一つ新しい
企画を試みよう
とすれば、風当りが
強く挫折する事
があります。反対
の根拠の中には極め
て理論的でない

強く感じる今日此の頃です。
急な変革を好まず育った
環境との違和感を強めます。
先輩の努力の積み重ねだか
ら変えないほうがいいとい
う人が多いですね。何も苦
労をする事はない、と消極
的になってしまいます。感
情としては理解できるでし
ようが、進歩を目指すには
邪魔となり、どの辺で感情
論を振り切るかが難しい処
です。だから役員任期も二、
三年経たねば実行不可能で
す。

本部での差し当たりの問
題点は道路問題ですが、同
窓会がどの程度に協力する
かが問題なので……

・速き日の血潮いとほし手をかざし
赤さを確かめ元旦迎ふる

・揺れている南天の赤の独り言
くじけず燃へよ燃へて燃へねば

・夕映えの短く終る湖畔端
落葉は風と私と踊る



大村先生のこと

学校長 竹内 長生



92の
晩秋、
郡内の
中学校
へ進路
へ講話に
出向いた。この折、校長先生
から、二葉高の現況について
お褒めをいただき恐縮してい
たら、突然大村浜先生のお話
をされた。大村先生は、昭和
三年〜十二年本校で教壇にた
たれ、その後東京の中学校
(新制)の教師を長く務めら
れた。本校へ赴任された時は、
女高師出の新任教師であった
という。「国語教授の大村」
として多大な業績を残された。
その大村浜先生が御講演で、
御自身の国語教授の原点は諏
訪高女での教育にあり、二葉
高校はすばらしい学校である
と絶賛されたという。

余名(うち男子三三〇余名)
の生徒達が、二葉の良き校風
による陶冶と上級学校への進
学を目標にがんばっている。
同窓会東京支部の熱気のご
もった盛大な総会、そして母
校への御高配にいつも感謝の
念でいっぱいである。より充実
し発展する二葉高を育て、守
る使命を胸に想いながら。

これらの伝統に輝く本校、
前庭のすばらしさと、清水多
嘉示先生(在職大正八年〜十
一年)の快心作の(すこやか
像)が、その美しさを賞揚し
ている。この中で一、〇八〇



平成二・三年度卒業生の動向

1) 最近の進学状況 ()は男子

卒業年度	卒業生 総数	進学		就職		家居	
		人員	比率	人員	比率	人員	比率
平成二年度	357 (124)	241 (47)	67	24 (5)	7	92 (72)	26
平成三年度	354 (126)	233 (49)	66	11 (5)	7	108 (72)	31

2) 最近の学校別進学状況

卒業年度	国立大	公立大	私立大	国公短	私立短	専門	その他	計
平成二年度	6	2	81	16	78	58	0	241
平成三年度	14	2	65	23	96	33	0	233

本部定期総会(ごあんない)
日時 五年五月八日(日) 十時より
会場 成田屋(TEL 〇二六六一五二一四五〇〇)
申し込みは母校事務局へ
(TEL 〇二六六一五二一四六二八)

恩師だより

心のふれ合い

自然との出会い

鮎沢 渡



昭和二十二年から十六年間諏訪二葉高校にお世話になりました。

なり幸いに高校第一回から第十七回までの同窓生の皆様に出会い、充実した楽しい心のふれ合いは私の心の財産、宝であり深く心に刻まれ生き甲斐を与えてくれたと感謝の気持ちで一杯であります。戦後宮崎県高鍋中学校に一年半勤



鮎沢先生撮影 プッポーソウ

私の家の玄関から来てして帰ります。五月に南方から飛来し八月には子育てをして帰ります。

め、郷里に戻り諏訪高女、諏訪二葉高校に勤めたのが本格的教員生活のはじまりでした。すべてに対してひたむきの意欲をもつ生徒に接するとき私も自然に負けないよう頑張らなければと励まされる毎日でした。ホームルームでは雑誌世界、中央公論、新聞等から文学・政治・経済等の話題を紹介し、英国の学校生活を書いた岩波文庫「自由と規律」(池田潔著)を読みこれこそ教育の原点であることを勉強しました。また文化祭、運動会、遠足等お互いの信頼のもと共に喜び苦しみ心のふれ合いの大切を知りました。



東京支部の皆さんにお元氣ですか。私は二葉高校へ勤

両角 千明

共学ことはじめ

めて早十五年となりますが、在職する最古参といふことで、支部長さんから母校の男女共学に移行した当時のことを書くよう依頼される立場になりました。共学は今年で七年になります。

見える大木に止り観察には都合よく十年來観察を楽しみにしています。声のプッポーソウ(コノハズク)でなく姿のプッポーソウと呼ばれています。上社参拝の折にはいつも案内致します。

宮芳平先生遺作 新潟県立長岡美術館へ
本年7月中ごろオープン予定の新潟県立長岡美術館に「きざはし」「きざなみ」「海そのま」の三作が、開館披露の壁面を飾ります。当初は9月5日までですが、折がおりましたら是非お立ち寄り下さい。

母校運動クラブ活動状況 平成4年度

陸上	インターハイ	出場
800m	500m	400m
バレー	県大会	優勝
女子	県大会	優勝
新北	越前大会	優勝
男子	バスケット	優勝
ソフト	バスケット	優勝
スケート	バスケット	優勝

はじめ幾つかの運動部ができました。野球部は十一名の部員でスタート、一年目は大会参加できませんでした。昨年は夏の県大会で三回戦まで駒を進めました。応援体制のとれない女子の生徒が大勢球場におしかけ、先生や男子生徒のリードで大声援を送り、学校をあげての大会参加ができたのは夢のようです。現在男女の比率は二対一ですが、当初少数の男子生徒が女子に圧倒され昼食を屋上で固まるとる姿には同情する声もありました。しかし、今では生徒会役員、二葉祭も男女協力のもとに成り立っています。春の花見の場所とりや秋のやき芋の煙はあまり見られなくなっても、たくましい力を感じる学校生活を送られております。

告 報 会 総

— 平成二年度 —
副支部長 宮崎玲子
(高校1回)

司会 副支部長 宮崎玲子 (高1)

平成二年度諏訪二葉高等学校同窓会東京支部定期総会は平成三年六月二十九日(土)、午前十時半から午後三時近くまで、日本青年館内東洋軒に於いて、下記のごとく開催されました。参加者は二五九名(来賓三名、客員五名、役員八名を含む)。この日は梅雨も終り近く、本格的な夏を迎えた感じで、会場はカラフルな夏服に華やいていました。清水保子支部長の、歴代の幹事の方々が後輩のために敷かれたレールに導かれて会員増強を第一目標に、との挨拶に始まり、最後まで盛会のうちにも和やかな一日でした。

- 一、開会の辞 副支部長 横内栄子(女38)
- 二、校歌斉唱 ピアノ伴奏 丸山みずす(高8)
- 三、支部長挨拶 清水保子(女38)
- 四、来賓・客員紹介
- 五、議事 会計報告 持丸きみ子(高3) 宮坂絹子(高3) 会計監査報告 小林シゲ子(高2) 矢部喜久子(高2) 報告 清水保子
 - 1 弔慰金に関して会則の変更等の承認
 - 2 役員の交通費を役員会のみ@八百円を承認
- 六、来賓祝辞
 - 新役員紹介・旧役員への慰労感謝 清水保子
 - 本部長 細田照代氏 終身会費約一人百円を還元
 - 学長 竹内長生先生 男子が33%となる
- 七、客員のお言葉
 - 三井為友先生 初期の東京支部
 - 篠原一雄先生 三十年長居の理由は生徒の魅力
 - 池上正治先生 二葉二十年、二葉の会費は安い
 - 山崎新蔵先生 大森校長との一期一会
 - 中村佐伝次先生
- 昼食 歓談—
 - 乾杯の音頭は青木前支部長
 - 会報に寄せられた感想を披露
- 八、講演 巽豊彦氏「ギャスケル夫人のことども」(別記)
 - 冷たい紅茶とケーキ—
 - 講演の謝辞 宮崎玲子
- 九、余興 二重唱「フィガロの結婚より・夏の思い出」
 - 青木恭子(高3) 石崎靖子(高15)
 - 日本舞踊「春の壽」 横内栄子(女38)
- 十、会員合唱 「白き翼」 ピアノ伴奏 青木恭子
- 十一、閉会の辞 持丸きみ子

諏訪二葉高校同窓会東京支部平成2年度決算報告書
(平成2.5.1~平成3.4.30)

収入の部			支出の部			
項目	金額	備考	項目	金額	備考	
1 前年度繰越金	1,034,324		1 総会関係	東洋軒 食事代	1,083,800	パーティー・飲食物他 278名
2 二年度維持費納入額	1,104,500	1000×1097.500×15		東洋軒 会場費	192,322	席料・奉仕料・その他
3 二年度総会会費	1,088,000	4000×272		講師謝礼	110,000	藤原正彦先生(車代共)
4 総会関係雑収入	50,000	祝儀		雑費	105,022	通信費・決算報告他
5 会報関係雑収入	50,000	本部より祝い金	2 会報関係	印刷費	140,836	2500部
6 名簿売上	6,500			通信費	65,654	会報発送費(封筒・切手)
7 還元金	180,000	本部終身会費より		雑費	73,818	会場費・交通費他
8 預金利子	50,524		3 弔慰金	29,789	9名(送料含む)	
			4 名簿基金	200,000	名簿基金の現在定額預金残高(856,000)	
			5 支部長及役員通信費	30,000		
			6 支部長及役員交通費	22,640		
			7 役員会及幹事会	399,262	役員会6回・幹事会3回・会場費・通信費他	
			8 次年度繰越金	1,110,705		
合計	3,563,848		合計	3,563,848		

上記の通り報告致します。

平成3年4月30日
会計 持丸きみ子
宮坂絹子

上記、会計監査の結果、間違いありません。

平成3年6月4日
会計監査 小林シゲ子
矢部喜久子

— 平成 三年度 —

副支部長 笠松光江
(高校1回)

平成四年
五月九日、
折しも故郷
の諏訪では
七年に一度
という御柱
大祭のさな
かに行われ
た今回の総
会でした。

山岸会長、

母校竹内校長先生始め来賓、
客員、出席総数二四四名が日
本青年館内東洋軒にご参集い
ただき盛大に開催されました。

まず宮崎副支部長開会の辞
に始まり、高校十六回村瀬成
子さんのピアノ伴奏による校
歌斉唱、支部長挨拶、来賓客
員の紹介、次にこの一年の間
に逝去された会員のお名前が
告げられ全員でご冥福をお祈
りしました。

議事に入りまして、会計報
告、会計監査、清水支部長よ
り三年度の大きな事業であつ
た「東京支部名簿」作成、特
に初めて行った無料配布実現
の経緯等と新会員開拓にも力
を入れた旨ご説明がありまし
た。次期役員の紹介があり、
宮崎新支部長が役員を代表し
て挨拶されました。

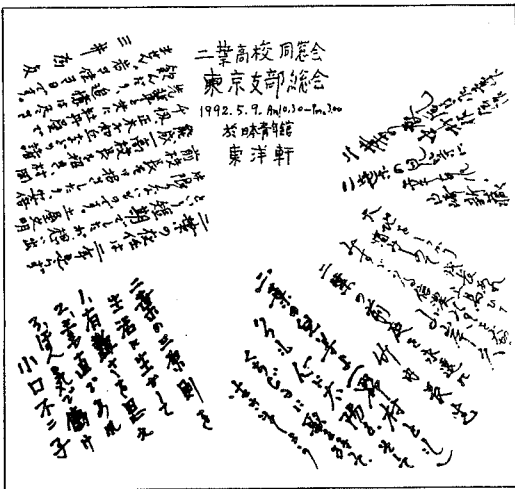
次年度より同窓会は、支部
長も高女卒より高校卒への移
行の年に当たり、支部長任期、
副支部長二名制等、会則一部
変更の件等を含む全ての議事
は拍手をもって承認されまし
た。又この機に東京支部に多
大の尽力をされた方々に対し
花束の贈呈が行われ、前支部
長青木様より代表してご挨拶
をいただきました。

本部山岸同窓会長からは今
日の総会を祝ってすばらしい
吟詠を頂戴致しました。

竹内校長先生よりは、母校
近況のお話しが、ことに男子
生徒の優秀さのご自慢もあつ
て、諸姉に複雑な思いをさせ
る場面もありました。

客員諸先生か
らもそれぞれご
近況やら所感や
らのお話しをい
ただき有り難う
ございました。

支部顧問三井為
友先生の乾杯の
音頭により昼食
と暫しの歓談、
午後は理学博士
名越智恵子先生
高校六回による
講演「極める」
(別項)で、医



当日来賓による寄せ書き

療被爆という身近でしかも等
閑視されていたことへの警鐘
を頂き改めてミクロの世界を
より近くに考えさせられた一
時でした。

余興に移り、二期会会員、
東京室内歌劇場会員としてご
活躍の高校十五回竹村靖子さ
んの独唱に酔い、あつという
間にこの年の総会も終盤を迎
えました。

全員で白き翼を大合唱、高
校四回山本倭子さんの閉会の
次を以って定刻午後三時に平
成三年度同窓会東京支部総会
は幕を閉じました。

諏訪二葉高校同窓会東京支部平成 3 年度決算報告書

(平成 3. 5. 1 ~ 平成 4. 4. 30)

収入の部			支出の部			
項目	金額	備考	項目	金額	備考	
1 前年度繰越金	1,110,705		1 総会関係	東洋軒 食事代	997,400 256名	
2 三年度維持費納入額	1,648,946	1,614名		東洋軒 会場費	222,916 席料・奉仕料他	
3 三年度総会会費	1,004,000	251名×@4,000円		講師謝礼	110,000 車代とも	
4 総会関係雑収入	50,000	祝儀		雑費	126,103 通信費他	
5 名簿売上	600			2 名簿	印刷費	978,500 2,500部
6 名簿基金より	921,952	基金 856,000			雑費	290,195 通信費・会場費他
		利子 65,952	3 会報雑費	21,030		
7 還元金	180,000	本部終身会費より	4 弔慰金	8,195		
8 寄付金	44,711		5 名簿基金	500,000	総会通知葉書代 41×2,200 含む	
9 預金利子	321,500		6 役員通信費	30,000	支部長及び役員	
			7 役員交通費	78,630	本部総会参加費含む	
			8 役員会及幹事会	577,161	役員会9回・幹事会4回・会場費・通信費他	
			9 次年度繰越金	1,342,284		
合計	5,282,414		合計	5,282,414		

上記の通り報告致します。平成 4 年 4 月 30 日
平成 3 年度会計 山本 倭子
林 芳 子

上記、会計監査の結果、間違いありません。平成 4 年 4 月 30 日
平成 3 年度会計監査 持丸 きみ子
宮坂 絹子

『ギヤスケル夫人のことども』

講演要旨

上智大学名誉教授 巽 豊彦先生
英文学者

今日の演題に選びましたギヤスケル夫人ですが、おそろく皆様のほとんどにとつて馴染みのない名前ではないかと思ひます。しかし最近では、ますます多くの人たちに興味を持たれている人物なのです。

エリザベス・ギヤスケルは一一一〇年ロンドンに生まれ一八六五年に五十五歳で亡くなりました。八人きょうだいの末っ子でありながら、成人したのは一番上の兄と彼女だけで、しかも彼女は生後十三カ月で母親とも死別。イングランド北部の州チェシアのおばさんに引き取られて娘時代を過ごします。そしてやがてマンチェスターの牧師であつたウイリアム・ギヤスケルという人と結婚しました。

マンチェスターは十八世紀半ばからの産業革命に工業都市として栄えたところです。エリザベスはチェシアの農村を生涯愛し、また牧師の妻として大都会に暮らしたため、

いそうじゃないと言ひ立て、裁判沙汰にもなつたのです。そんなことがあつて伝記というものは自分は一切書かれたくない、手紙も全部焼き捨てなさいというのが彼女の遺言でした。その結果没後百年を経た一九六六年になつてようやく残つていた手紙を集めた『ギヤスケル書簡集』が出版されたのです。そしていま、ビクトリア朝見直しの風潮の中で、彼女の再評価が行われつつあります。

作家ギヤスケルを語るならばその作品についてお話ししなくてはならないのですが、今日はその時間がありません。そこで私がお話ししたいのはギヤスケル夫人が忙しい家庭の中でどうやって作品を書いていったか、ということ。当時女の人がものを書くのはさまざまな障害があつたと思ひます。しかも彼女の場合は牧師の妻としての手伝いもある、家そのものが教会の延長

その両面が彼女の作家活動の特徴になりました。同時代にはシャーロット、エミリー・ブロンテ、ジョージ・エリオット等の有名な女流作家がいます。ギヤスケル夫人はこれらの人たちに比べると良妻賢母型で、「新しい女性」からは非常に遠いように思われ、ビクトリア朝に対する反動が起つた二十世紀前半まではそのイメージゆゑに正当な評価を受けませんでした。ビクトリア朝家庭婦人の理想像ではあるが、その小説は要するに家庭小説であり、水準が低いと決めつけられていたのです。

彼女は自分のことを書き遺されるのを大変恐れました。自身は『シャーロット・ブロンテの生涯』という優れた伝記を書いていますが、この本はシャーロットが死んでほんの二年後に出たので、作中に登場する人たちの多くがまだ存命中で、彼らがそうじゃな

長のようなものですから、人は来るし、日曜学校の生徒の世話もする。もちろん子供も生まれる。牛や鶏を飼つてい。お客さんの世話も、子供の話もある。そういう中で彼女は小説を書くようになるのです。実は初めて授かつた男の子を一年にもならないうちに猩紅熱で失つてしまひ、そのショックから何もする気力もなくソファアに横たわり、そのソファアがまるでお棺のようであつた、といわれてい。ますが、その時に夫のウイリアムが彼女に文才があることを知つていましたので、何か書きなさい、自分の悲しみを人の悲しみに消しなさいと勧めたのでした。彼女は牧師の妻として貧民や病人を訪問してましたから、産業都市マンチェスターで労働者たちがどれほどひどい目にあつてい。るかを実地に見ていました。そこで、彼らの悲しみを書いたのです。それが『メアリー・

講師略歴

大正五年生まれ 東京帝国大学文学部卒 五、六年兵役に従う、昭和二十一年上智大学へ、四十四年英文学部長現在上智大学名誉教授、東京工科大学名誉教授 ルネッサンス研究所所長 日本ニューマン協会会長

パートン』という彼女を最初有名にした作品です。資本家と労働者の問題とか労働組合の問題とかを扱つています。それから彼女は次々と小説を発表するようになるのですが、今申し上げたような忙しい生活の中で書いていく訳です。子育てか、作家か、と悩む若い女性に彼女は「子供は産んで育てなさい、そしてあなたが四十歳になつてまだ物を書くだけの能力があつたら、その時あなたが書くものは、恐らく今あなたが子供を生まないで書いた作品の十倍も優れたものになるでしょう」と答えています。

女性には女性の仕事がある。子供を育てることも一生懸命、家庭の仕事も一生懸命、しかも立派な作品を書ける。ギヤスケル夫人の書いたものがどうであるように、そういうことのすべての中から生まれてきたものは幅が広いというか、厚みがあるというか、ちよつと違ふと思ひます。

ギヤスケル夫人の生き方、作品から、そういうことをお話ししてみたかったです。



『極める』

講演要旨

東京大学原子核研究所所員
理学博士

名越 智恵子 先生

(高校六回)



すべての物質は原子からできてくることは、御存知のことだと思います。どんな原子も正の電荷をもった重い原子核とそれをとり囲んでいる負の電荷をもった軽い電子とから成り立っています。自然界には実にたくさん物質が存在していますね。例えば、軽い水素と云う元素には水素原子が、鉄の元素には鉄原子と云うように、それぞれ物質固有の原子が存在します。これらの原子の重さは、殆ど原子核が背負っています。堅くて重くそして正の電荷を持つ原子核は、中性子と陽子と云う粒子が核力と云う力でしっかりと結びついて作っています。簡

単なことではとても壊すことはできないのです。この強い結びつきを壊すためには、堅い物どうしを、大きな力で打ち当ててやらなければなりません。そのための道具のことを加速器と云います。原子核を壊す大砲とも云えましょうか。加速器の中で、現代でも広く使われているものにサイクロトロンがあります。これはローレンスと云う人が最初に開発に成功しました。彼はこの発明で一九三九年にノーベル賞を貰いました。これは原子核の弾丸に電気力で周期的にエネルギーを与え、標的に衝突させる装置です。

この発明の成果のうえに、次々と、より巨大な加速器が発明され、物質の根源を探る実験が展開されました。その加速器は今では、物質のミクロな世界の基礎になる知識を与えています。物理は勿論ですが、生物・農学・工学・物性・考古学そして医学の広い分野に應用され、実用化されています。その一つの例が、筑波の高エネルギー物理学研究所に、陽子を加速する、陽子シンクロトロン加速器であります。一秒間に30万キロ以上の速度(月まではときま

せんが、その半分よりも少し速くまでの距離)に加速されます。このようにスピードの速い粒子を、原子核に衝突させ、いろいろな実験を行います。そして現在では、その加速器は、ガン治療のためにも使われるようになっています。

物理学者の夢は、この世界の根源を作っている極限に小さな物質世界に思いを馳せるわけですが、それらが各分野で應用され、実用化され、それが人々の幸せに繋がることであらうことを信じております。

現在、地球上のエネルギー問題は大変深刻な状況にあります。そのために原子力発電が用いられております。しかし、これにもいろいろ問題があることは御存知の通りです。

より良いエネルギー源を開発する問題一つ取っても、物質の成り立ちの基礎知識がどうしても必要です。そのためにも、加速器等を用いたミクロの世界の探求が求められています。

また、加速器等により作られる放射線は医療に大きな役割を果たしています。しかし乱用は決してなりません。

何でもそうですが特に放射線には障害と利益の二面性のバランスを考えながら、その時、有利な方を取るようにしましょう。

医療被爆と云う言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。医療診断による被爆は日本は欧米の二倍を超えています。治療や診断に必要だからと、医療被爆には法的規制がございません。個人の年間の放射線被爆量を管理できるような医師どうし、医療機関どうしの連携を急いで作らなければならないかと思ひます。

このように物理学とは、それほど複雑で、難しい学問ではなく、むしろ私たちの日常生活と切り離すことのできない学問であることがおわかりいただけたでしょうか。地球全体からすれば、狭い分野の仕事ですが、この世界に生きて三十二年間が過ぎ去りました。その間へ頑張れよ!! 頑張りたいと思ひます。



白樺だより



勤労働員の頃

(高女38回) 藤森京子

風雲急を告げ太平洋戦争が勃発した翌年の昭和十七年四月、私も三十八回組は諏訪高等女学校に入学いたしました。

当初はまだまだ平和な女学生生活を楽しむ余裕もあり、授業も通常に行われていました。二年生の半ば頃から疎開で編入する方も増え、勤労奉仕も多くなって次第に戦時色が深まってまいりました。そして昭和十九年八月三年生の時に、ついに全員が勤労働員で工場に行くことになったのです。

私どもは「東洋バルブ」と「北沢工業」の二つに分かれて勤員されました。私は北沢工業の方でしたが、戦争の進展と共に諏訪湖畔に急築された工場の規模の大きさと、真冬の凍結した湖上を渡ってくる寒風の厳しさが、強く印象に残っています。

ちようど丸一年経った昭和二十年八月、敗戦とともに勤員を解除されて女学校四年生に戻りましたが、戦後は価値観がひっくりかえってしまっ

た上に、教科書に墨を塗って授業を受ける状態でした。疎開の方々も増えて入学時の定員の二倍近くになり、よい授業環境とは言えない期間が卒業まで続きました。

私はその後高校一回を卒業して早稲田の国文科を出しましたが、後年中学校の教師になった時、基礎学力の不足をあらためて感ずることが多く、戦争というものは人の命を奪うだけでなく、いろいろな後遺症を残すものであることを痛感いたしました。

初めての生徒会

(高校1回) 黒崎厚子

昭和二十二年、私たちは諏訪高女でただ一度の五年制の一回きりの五年生でした。

初めての生徒会の役員がどう選ばれたのか覚えていない

位なので、生徒会の会議で一年下の方々から民主的改革に関する質問が出されて、会長の私は答えられずに立往生したことを覚えています。

秋の運動会に諏訪中学から見学したいとの申し入れがあったさあ大変。前代未聞のことなのであてもない、こうでもないかと相談した揚句、人数を制限して観客席の列にまともに入って入退場して戴いたように記憶しています。

また会則改制委員会の発足に当り、先んじて改革を試みていた諏訪中学の五年生から参考意見を訊くため我が校に招いたことがありました。一階の教室で、こちらからも委員が出席して表面は和やかに、心中はかなり緊張して意見の交換がされました。いま思えば何でもないことが当時は新鮮に、新しい時代の幕開けのように思われたものでした。

会の組織が改訂され、運動部・学芸部・事業部とも当時の食糧事情のもとお腹をすかせながら熱心に活動していました。こうした中で民主的な生徒会への芽が育っていったのではないかと思われま

諏訪中生との交流が鮮明に残っているのもこの頃の時代を反映しているのでしょうか。最高の価値を「天皇のもとに死ぬ」とする徹底した教育で形造られた私には、当時民主主義の何たるかも理解しきれず、皆の声をきき、その要望に応えることもできなかつたと身のちぢむ思いがしております。

憧れの

オードリー・ヘップバーン

(高校20回) 藤森 滋

高校生の頃、諏訪で洋画を上映していたのは大手町のシネマ・レイクでした。私は特別映画好きというわけでもありませんでしたが、オードリー・ヘップバーン主演の「マイ・フェア・レディ」「麗しのサブリナ」「昼下がりの情事」を観た思い出があります。

その後上京し、「ティファニーで朝食を」「シャレード」リバイバルの「ローマの休日」を二本立てで観ることができました。おしゃれなニューヨークやパリの町、ステキな音楽、ヘップバーンのドレスや帽子その仕事を、外国への憧れと共に楽しんでおりました。

しかし何ととっても「ローマの休日」は、大好きな作品です。まだ私が幼かった頃、お勤めをしていた叔母は、ヘップバーン・カットに、フレアリーのたくさん入ったスカートで、おしゃれをしていた記憶があります。母や叔母の世代とも、ヘップバーンの中に娘時代の同じ夢や憧れをみつけることができる気がします。

レマン湖畔の小さな村で亡くなったこと、ユニセフの大使をしていたことを知り、王女様の心を持った、ほんとうのスターだったと思えてなりません。ありがとう、そしてさようならオードリー・ヘップバーン。

東京支部維持費振込のお願い

1,000円
 東京5-2043
 東京支部
 諏訪二業高同窓会
 事務局に
 個人で納入の
 ためにお名前を
 記載してください。
 高女又は高校の卒業回数必ず
 記載してください。
 振込手数料は支部負担
 とさせていただきます。
 振込用紙は
 振込先
 入会費
 振込先
 入会費

院貞子 (0425-77-4755)
 矢野恭子 (0423-23-0617)

喜寿をむかえて

(高女24回) 木村政子

私は昭和七年高女二十四回卒業生でございます。私は卒業後四年もたつて、偶然のはずみで、女子医専に入学昭和十六年に卒業いたしました。卒業後七、八年は勤務医として病院に勤めました。内科、小児科、眼科、などをやりました。其の間五年間、戦中戦後にかけて、諏訪赤十字病院に勤務したこともございます。戦後結婚して東京に住み、現在は、東京新都心、都庁にほど近い場所で、約四十年間、主婦のかたわら、眼科の開業医として現在も現役でやっております。医師として別に大した業績も残さずおはずかしい次第でございますが、町医者として四十年、いささか地域医療のお役に立てたと自負しております。昨年(平成四年)は、女子医専卒業五十周年にあたり、偶然にも喜寿をむかえました。これらを記念して、かねて念願だった小説的自伝「ここに道あり」を自費出版いたしました。大正の始めに生を受け、平成の現在まで三代の御代を、七十余年

生きてきました。

平和だった大正の牧歌的幼時、戦争に明け暮れた激動の昭和、高度成長をとげ経済大国となつて先進国の仲間入りをした現在、自分は、いかに生きて来たか、その足跡をたんとたどつてみました。旧態然としてちつとも変つていない自分を見つめて愕然といたしました。自分は矢張り、明治、大正の人間だなあと思いました。私が在学中の昭和三年、七年の頃の諏訪高女の思い出も書きました。当時まだ、制服がなく和服に袴でした。人には誰にでも歴史があり、それぞれのドラマがあります。こうして書いてみますと、私の七十七年のドラマは決して人に誇れるものではありませんでした。私の性格は優柔不断で、とくに医師になつてからの人生は、平坦なものではありませんでした。忍耐と、配偶者の事業欲にふりまわされた生涯だったと思います。現在の若い二葉高校の卒業生の諸氏には考えられない笑いごとだと思ひます。

庭木戸のかたへに咲けるクレマチス出でゆくことに声かけてやる
岩頭に波しぶき浴ぶ佐渡に来て高ぶる心をおさえ難かり
富士五合目眼下に広がる雲の海鳥島のごと山波浮かぶ
捨てきれぬ物に埋もれて来し方を思いつつむく信州りんご
賜はりし百合の蕾の日毎咲き花とわれとの対話のつづく

追憶 (高女27回) 小島初子

「悪の華」の序詞口ずさみ大根の千六本を刻む厨刃
千六本の大根かをる味噌汁を亡き子は好みきをりを供ふ
ポードレール、アルチュール・ランボオ皆アル中酔うて生きゆく
時世なりしか
荒れ果てし小庭に落つる紅き木の実寥々として日は斜めなり
枝鳴らし過ぎゆく風の道は見ゆのろき歩みを風に乘せゆく
夕かけに八つの峯々くつきりと空を画れり雪近からむ

諏訪神社の御柱祭 (高女35回) 由井和子

遠つ世に離りてあれば御社の御柱祭いよよ尊き
里曳きの木遣りの歌の耳底に響きて頭つちはちははの家
高処より満身紅く汗にぬれ木遣歌唄へる少年に涙する
御柱に太き綱つけ幾千の人らと曳けるわれも諏訪の子
父母の亡き諏訪の祭に父祖の血のたぎり覚えてひと日わが来し

ニュージールランドにて (高校2回) 田中弘子

外国の広き原野に物思う吾れ過ごし日日小さかりけり
広大な山河に群れる羊の仔母のまなこのやさしかりけり
雲間より氷河のぞきて感激に声うしないてしばしたたずむ
迫りくる高き岩山眺めつつ帰りの無事を我祈りおり
マオリ族遠き祖先の文化つぎ現世に生きる命とおとし

短歌

図書紹介

- 高女24回 木村政子著
ここに道あり
- (頒価 一、五〇〇円)
主婦の友出版SC製作
- 高女35回 由井麗依子著
歌集 冬の湖 (由井和子)
(定価 二、八〇〇円)
新潮社製作
- 高校1回 宮崎玲子著
世界の台所 福音館書店
(定価 一、二〇〇円)
- 台所から覗く北の国と南の国
火と鍋と暮らし 上下
原書房
(定価 各一、六〇〇円)
- 高校2回 新倉朗子
完訳ペロリ童話集 岩波文庫
(定価 五二〇円)
- フランスの昔話 大修館書店
(定価 二、二〇〇円)
- 美しいユーラリ 小峰書店
(定価 一、三〇〇円)
- 高校5回 高嶋あき著
歌集 みずうみ 不識書院
(定価 二、五〇〇円)
- 高校16回 中島弘子訳
デイトリッヒ自伝 未来社
(定価 二、五〇〇円)

抗がん剤研究で医学博士号

細川齊子さん（高校28回）

三菱化成総合研究所に勤務する細川さんは富士見町出身、諏訪二葉より東京理科大修士課程卒業、その後一貫してがん発病のメカニズムと治療に必要なとされる抗がん剤と、その副作用抑制の投与方法についての研究を続けられて

活躍する先輩・後輩

文に対し、このほど東邦大より医学博士号が贈られました。細川さんは「研究の経過は山の高さにすればまだ高原の位置」と謙虚に語られています。声援を送りたいと思います。（川崎市在住）



第77回二科展 「みのり」
篠原広子さん（高女30回）

現在日本美術連盟会員の篠原さんはご主人の海外勤務に従ってワシントン滞在中に油絵を学ばれ、1966年二科会初入選。爾來27年の間ずっと出品を続けられています。

寄付

- 市山春子様（高女20回卒） 金三十万円
- 高女27回生 御一同様より 金一万円
- 伊地敦子様（高校9回卒） 金三万円

二葉卒業後東京芸術大学、同大学院修了以來活躍を注目されておられる竹村靖子さんの大きなリサイタルがありました。四年十一月十一日津田ホールにて、日本の歌、リスト、ラフマニノフ、スペイン歌曲等々、ご自身の訳詞の歌も含め素晴らしい演奏会でした。

七十代のキャリアウーマン

高女28回の方々

（財）日本手工芸指導協会監事としてご活躍の原田さと子さんは、袋物製作の分野で今なお沢山の教室をかけ持ち、意欲的な毎日を送っていらっしやいます。産経学園教室・杉並区高井戸センター婦人教室・松屋、東武両デパートのカルチャースクール等々講師としての足跡は枚挙に暇がありません。袋物は、刺しゅうの作者、革工芸あるいは染色作者たちの発表のための加工といういつてみれば裏方の職人、おもてに現れないということも気に入っていられるよ

うです。何より教室に集まる多勢の人々との触れ合いをこよなく愛しつつ、ご自身の楽しみのためにも今なお現役。なお四月十四日より十九日まで浅草松屋「手工芸大博覧会」に出品されている由。

なお同期の方々の中には、書道教室をもたれている今井綾子さん。

生け花歴四十五年「草月流」発展のために尽くされ、今なお理事として後進の指導を続けられている齋藤すみ江さん。

伝統工芸「鎌倉彫り」でご自身も日々製作を重ねつつ、内弟子さんへの技術指導にも心をくたく小口楨子さん。

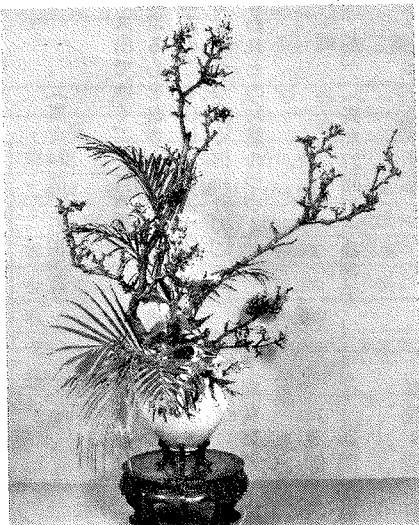
等々二十八回生の皆さまはそれぞれが永遠の現役、齡とい

うものはその人その人の心の中にこそ、と改めて考えさせられました。

リサイタルも大盛況

竹村靖子さん（高校15回）

後進の指導にあたるかたわら常に勉強を怠らない姿勢に頭の下がる思いです。（現在二期会会員、東京室内歌劇場会員）



花岡豊香

いけばな小原流家元教授
花岡こうさん（高校2回）
（小原流多摩支部副支部長）

道祖神の里に大先輩の

市山春子さんを訪ねて

副支部長武井善子(高校2回)

高女二十回卒の市山春子さんから、東京支部に多額のご寄付を頂き、お蔭様で昨年発行の支部名簿作成の大きな助けとなりました。

遅ればせながら、一月十三日に表敬とご報告をかねて訪問しました。あずさ9号で一時半到着、市山さんは寒い中を駅までお出迎え下さり、安曇野に広がるわさび田、白鳥の群れ遊ぶ犀川の岸辺、素晴らしいガラス



工芸館等々をご案内下さいました。春には道祖神を巡るハイカー達が訪れる安曇野も静かな冬景色に包まれ、さすが空気は凛として、久しく忘れていた諏訪の冬を思い出します。

お宅は新穂高温泉郷に新築された、床暖房、温泉完備の豪邸で、お言葉に甘えて泊めて頂きました。市山さんの人生観に夜の更けるのも忘れて耳を傾け、さぞお疲れだった

事と恐縮しております。

市山さんは製糸業全盛時に岡谷の製糸家に育ち、五人の学友と共に諏訪高女へ通われました。昭和三年卒業後女子医専に進まれ、更に六年を東京帝国大学医学部で研究生として学ばれた後、内科医として

独立、戦時中をくぐり抜けあると、きは離島の無医村に十年も奉仕をなさるなど、医学に

一生を捧げられて、八十二才の現在も後輩の指導や執筆に活躍されています。

子女全部に最高教育を施されたお父様、強い信念の持主だったお母様、優しく見守ったお兄様などの思い出を語りながら、私達若輩の言動にぴりっと辛いご批評も下さる一筋通ったお人柄に、多くのものを学ばせて頂きました。お一人暮らしの中で、訪問者のために新しいパジャマを揃

え、お土産までご用意下さる細やかなお心遣いに、頭の下がる思いでおいとま致しました。

旧校舍に学んだ頃

校長は土屋文明氏

斎藤久乃さん(高女14回)

岡村に鉄筋コンクリートの新校舎ができて、移転したのは、昭和八年でした。それまでは高島小学校の並びの東側が学舎でした等々高女十四回の斎藤久乃さんに、当時の良い先生に恵まれた思い出を伺い、羨ましく拝聴しましたので授業風景を要約します。

「最初の英語は週二回リッダーで、東大卒の土屋文明先生でしたが、一年で先生は三村安治校長に代わって校長になられました。図画は清水多嘉示先生、しかし途中で学校を去られました。土屋先生、清水先生ともに二十才台でした。国語は高等師範を出た背の高い素敵な関根甚七先生、理科は千野光茂先生で、独学で学びながら後に京都大学に招かれるほどの博学で、天気予報の当たらない理由、物質の不滅等、週一回の理科の授業はおもしろくて、今も鮮やかに思い出します。」

物故者

平成三年四月〜五年三月

高女8回	大木 藤江
高女8回	大塚貴志恵
高女9回	佐川 みち
高女12回	披山 華
高女14回	弓削 春子
高女15回	吉田 松江
高女15回	宮坂 春子
高女16回	河西 淑
高女16回	矢島 重子
高女17回	野村 糸子
高女18回	増沢 とし
高女18回	岡田 たけ
高女18回	石井 文子
高女20回	伊藤 きみ
高女21回	中島 ふじ
高女21回	町田タケ子
高女21回	松本 ヤス
高女23回	小林たず子
高女24回	牛山うめ子
高女24回	茅野 やち
高女27回	後町みずほ
高女27回	藤森さよ子
高女28回	藤森 勝子
高女29回	富岡 恒子
高女30回	瀬戸 多勢
高女31回	井川 たけ
高女33回	藤森 みほ
高女34回	ロジャース・豊子
高女38回	土方 武子
高校1回	両角 好子
高校14回	山下 伸子
高校16回	関口 二美

編集後記

二葉東京支部だより第三号をお届け致します。

前号より二年目の発行となりましたので、総会・講演会のご報告などはほとんどが要旨にとどめざるを得ませんでした。講師の先生には申し訳ない事と存じますが、限られた紙面ゆえにご容赦下さい。明治、大正、昭和、平成と会員も四千二百人を越えました。四元号にわたる諸会員のご活躍のさまを、また時代とともに母校の節目節目を歩まれた方々の思いでの記録、作品の数々を載せることができました。先輩から後輩をつなぐさやかなかけ橋になることを祈りつつ、ご協力感謝致します。

編集委員

宮崎 玲子
笠松 光江
武井 善子
安部 雅子
入来院貞子
矢野 恭子
小林美智子
増沢美代子
下村美智子

東京支部活動記録

平成二年度

役員 支部長 清水保子 副支部長 横内栄子, 宮崎玲子 会計 持丸きみ子, 宮坂絹子

記録 藤森道子, 増沢悦子, 丸山みすず 会計監査 小林シゲ子, 矢部喜久子

本部理事会出席(支部長) 4月, 6月, 9月, 11月, 2月, 講演会5月

本部総会出席(清水支部長 横内副支部長)

活動のあらまし(概ねきりかき日本青年会)

年月日		備 考
2/ 7/ 9	新旧役員引き継ぎ	
9/18	役員会	第一回幹事会準備, 物故者香典及び免除会員の取扱, 幹事名簿作成
10/25	第一回幹事会	総会反省, 維持費納入に振込料負担, 会報の発行の承認
12/ 4	臨時役員会	会報編集
3/ 1/22	役員会	第二回幹事会準備, 役員任期について, 会報編集
2/19	第二回幹事会	役員任期変更, 総会講師, 会報の経過報告
4/2	臨時役員会	会報編集(於 清水邸)
4/16	役員会	第三回幹事会準備, 本部終身会費による還元金の報告, 総会通知の検討
5/21	第三回幹事会	総会通知及び会報の配布, 講師決定, 新役員紹介, 総会当日役割依頼
6/ 4	会計監査及び役員会	総会準備
6/19	役員会	総会準備最終打ち合わせ
6/29	総会	日本青年会館東洋軒で開催 259名出席(来賓役員を含む)

平成三年度

役員 支部長 清水保子 副支部長 宮崎玲子, 笠松光江 会計 林芳子, 山本倭子

記録 牛山美智子, 進藤弘子, 鈴木みき子 会計監査 持丸きみ子, 宮坂絹子

本部理事会出席(清水支部長) 4月, 6月, 9月, 11月, 2月,

本部総会出席(清水支部長 宮崎副支部長)

活動のあらまし

年月日		備 考
3/7/25	新旧役員引継会	
9/20	役員会	第一回幹事会準備, 総会会計報告, 東京支部名簿改訂案, 役員幹事名簿作成
10/ 3	臨時役員会	役員任期の検討, 横内前副支部長出席
10/17	第一回幹事会	役員任期変更の承認, 東京支部名簿改定案(各幹事が編集に当たる)
11/26	役員会	第二回幹事会準備, 名簿作成の経過
4/1/27	第二回幹事会	名簿の校正, 東京支部会則変更の検討
2/27	役員会	第三回幹事会準備, 総会の講師等決定
3/12	歴代支部長OB会	小幡恵菓子(7), 石田正子(11), 小平嘉子(12), 青木武子(14) 敬称略
3/18	第三回幹事会	支部名簿配布(無料), 新役員紹介, 総会当日の役割分担
4/23	役員会	総会準備
4/30	会計監査及び役員会	総会準備最終打ち合わせ
5/ 9	総会	日本青年会館東洋軒で開催 出席者 244名